

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 497

事務事業名	英語力向上対策事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	学校教育課		
課長名	丹野平三	内線	365
担当者名	松尾 勉	内線	366

基本目標	010202	人を育むまち
政策		豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		小・中学校教育の充実
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	01	教育総務費
目	02	事務局費
事業コード	090000	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	大村市アジア国際戦略(策定中)	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	公立幼稚園幼児・小学校児童・中学校生徒		
意図 対象をどのような状態にしたいか	中学校英語教育における実践的コミュニケーション能力や幼稚園・小学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養い、異文化理解を深めさせる。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	13名のALT(英語指導助手)を市内全小・中学校へ配置し、英会話による授業や英語活動を行う。		
事業期間	平成 13 年度	～	平成 年度
実施方法	直営		
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 年間授業時間数	計画値	11,375	11,375	11,375	11,375	
		実績値	11,375	11,375	12,320		
		達成度	%	100.0%	100.0%	108.3%	
活動指標	② ALT(英語指導助手)	計画値	13	13	13	13	
		実績値	13	13	13		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	① ALTへのアンケート(児童生徒とのコミュニケーション能力についての評価)	計画値	90	90	90	90	
		実績値	90.0	94.8	89.5		
		達成度	%	100.0%	105.3%	99.4%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	62,118	61,769	60,926	61,992	63,262	63,262	63,262	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	262	257	258	262	262	262	262	
一般財源	61,856	61,512	60,668	61,730	63,000	63,000	63,000	
② 人件費(千円)	2,384	2,139	2,013	2,382	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.30	0.25	0.25	0.30				
時間外勤務(時間)		125	125	100				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	64,502	63,908	62,939	64,374				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	ALTの役割を周知し、学校規模や児童生徒数を考慮する中で配置を工夫した上で、ALT13名を、全小・中学校21校で効果的に活用している。また、幼稚園にも訪問する機会を設定し、幼少期から外国語に慣れることで、母国語以外の言語に対する興味・関心も高まってきている。平成24年度から夏季休業中に、市内児童を対象にしたインターナショナルデイズを実施している。英語にふれる機会を広く提供するとともに、ALTにも企画や運営等を含め、本市児童生徒の英語力向上に積極的ににかかわりを持つよう指導している。
事業が抱える問題・課題等	長崎県教育委員会の研究指定(英語教育充実事業)の内容を発信して、大村市全体へと広げていくことや教職員の研修・意識改革を通して、児童生徒の英語力向上につなげていくことが今後の課題である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	ネイティブ(生)の英語と接する中で豊かな表現を体感することは、「話すこと」「聞くこと」の技能の上達に大きな効力を与えるとともに、ALTの出身国の生活・文化等について直接学ぶことができる。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	日常生活では、外国人と直接ふれる機会が少ないので、小中学校の授業でALTを活用することにより、外国人と接する学習場面を設定できる。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	実績値は100%を達成しており、国際理解教育の充実と共に英語力の向上に向けて更に効果を高めていきたい。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	小学生は、ALTとの交流を通して異文化理解とコミュニケーション能力の基礎を養うことができる。中学生はさらに、英語の授業で学習したことをALTとの英会話で活用することが可能となり、義務教育の充実につながる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	ALTの報酬は、国で定められた単価であり適正である。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	13人のALTの配置により、児童生徒は、ネイティブの音声やリズムに触れ、積極的にコミュニケーションを図り、言語や文化について体験的に理解を深めることができる。また、英語力向上事業として、夏季休業中に小学生対象のインターナショナルデイズを行うことで、ALTとの交流の場や英語力向上の場を設定している。 長崎県教育委員会及び市教育委員会の指定を受けた旭が丘小学校、三城小学校における早期英語教育のカリキュラムや小中連携の在り方、教材等の作成及び指導方法に関する実践的な内容を公開授業等を通して浸透を図った。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	HRT(学級・教科担任)とALTとの連携により、異文化への興味関心をもたせることは、英語力向上のみならず、生涯学習の基礎を培うことにもつながる。さらに充実させていきたい。			内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。